

国民大城 宿舎オープン



オープンした大城



●下松 アルミ製バイオリン寄贈も

下松市が約二十六億円で建て替えた笠戸島の国民宿舎大城(有吉良美支配人)が、一日、オープンした。開館前から約四十人が行列を作り、先着百人に紅白餅とブーゲンビリアの苗

木を指定管理者の市笠戸島開発センターの井川成正理事長や国井市長が玄関で来客一人々々に渡した。お客さんたちはさつそく笠戸湾が一望できる露天風呂の温泉につかった

り、昼食バイキングを楽しんだ。

この日はオープンに先立って打ち出し板金や三次元曲線成形の高い技術を持つ東豊井の山下工業所が製作したアルミ製のバイオリンの贈呈式もあり、山下

竜登社長と製造した藤井洋征さんが訪れて井川理事長に手渡した。

井川理事長は「大城の宝物として永久に大切にしたい」とお礼を述べ、感謝状を贈った。

バイオリンはロビーに展示する。ロビーには新幹線グリーン車の座席が並び、昼食バイキ

アルミ製バイオリン贈呈式の左から藤井さん、山下社長、井川理事長、有吉支配人

タオル類50キと紙おむつ 徳山商議所・女性会が鼓澄苑に贈る



ングも人気で、約二年ぶりのオープンを待っていた人々にぎわった。宿泊は三十七室が満室で、十二月の平日まで空きはないという。

この日から玄関前に防長交通の路線バスの3・52・013

周南市の徳山商工会議所女性会(石丸典子会長、四十七人)は一日、久米の障害高齢福祉センター鼓澄苑(中

村正昭苑長、

約五十キと紙

八十枚を寄贈し

同会はタオル